

# あれでいいのか？NHK会長選びと原発震災報道

—視聴者・専門家の声をどう生かすか—

講演Ⅰ：今中哲二さん「福島原発で何が起こったのか？」

(京大原子炉実験所、助教)

講演Ⅱ：醍醐 聰さん「震災報道とNHKの役割」

(NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ共同代表・東大名誉教授)

日時：2011年5月22日(日) 13:30～16:30

場所：エル・おおさか(大阪府立労働センター)708号

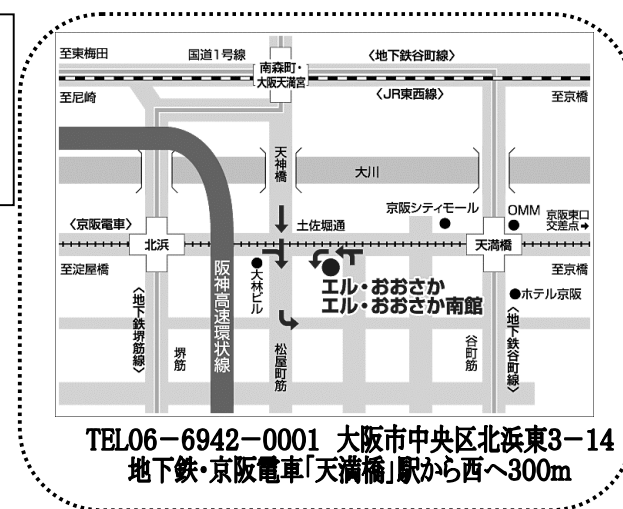
(資料代 1,000円)

主催：放送問題を考える大阪・兵庫・京都フォーラム

後援：関西MIC(関西マスコミ文化情報労組会議)・放送を語る会・

日本ジャーナリスト会議関西支部・全大阪労働組合総連合・

NHKを監視激励する視聴者コミュニティ



## 原発震災報道は真実を伝えているか？

- 1 NHKをはじめテレビ報道は被災者の真実をリアルに伝えてきたか？
  - ・「明るい話題」にことさら焦点を当てていないか？死者12000人、行方不明15000人の数字だけが踊り、その実態に迫っていないのではないか？
- 2 原発報道で深刻な真実を伝えず「安心」ばかりが強調されていないか？
  - ・「直ちには健康被害がない」などの気休め報道が多すぎないか？
  - ・「放射能汚染の水」を海に放出するという事態は「原発依存政策の失敗」を証明するものだと強調すべきではないのか？本質問題が避けられていないか？
- 3 東電の責任、指導できない政府、監視する役割を果たせない原子力保安院の「独立性」欠如を追及すべきではないか？

## NHK会長に何を求めるか？

- 1 日本を代表する巨大ジャーナリズムの会長はジャーナリズム精神に燃えた人であってほしい。
  - ・「株式会社」の経営ではなく、報道文化の組織の長としての自覚を持て。
- 2 NHK の生命線「放送の自主自律を堅持する」(新放送ガイドライン)を率先して実行する人でなければならない。
  - ・政治を監視するジャーナリズムのトップは政治家に <sup>ひざまず</sup> 跪かないでほしい。
- 3 「ETV2001 番組改変」事件を真に解決する人であってほしい。
  - ・「番組改変」後、従軍慰安婦問題が NHK の放送から消えて10年。福地会長も「解決」せずに辞めてしまった。いつまでも放送しないで済ますわけにはいかない。まずは「検証番組」を実現する決断力を望む。
- 4 NHK会長は、視聴者の声が聴ける人でなくてはならない。
  - ・会長選びに公募・推薦制を取り入れよ。
  - ・「会長候補」に所信表明をさせよ。
  - ・受信料を払っている我々にも「権利」をあたえよ。